

こめラムネ製作委 限定品、山本中受験生に「合格ラムネ」寄贈し激励



菓子の試作品を配布する大曲農高生

県立大学の学生でつくる「こめらむね製作委」(竹内大代表)は18日、三種町の山本中学校の3年生35人にラムネ菓子「合格ラムネ」を贈った。製作委は同町の旧下岩川診療所を拠点に、県の新たな土産品として県産米粉を使ったラムネ菓

子「こめらむね」を製造・販売している。



合格ラムネはこめらむねの期間限定商品で、受験生を応援しようと製造を企画。県産サキホコレの米粉に脳の活性化を促すとされるブドウ糖、クエン酸を配合。パッケージは大学入試の過去問題集「赤本」をイメージしたデザインで、ボトルの側面に志望校名を、

上部にメッセージを書けるようにした。この日は、製作委の竹内代表(23)と萩原七佳さん(22)、製造を担当する同町下岩川の近藤きぬ子さん(71)が山本中を訪問した。竹内さんと萩原さんが「頑張ってください」と激励の言葉をかけながら、代表生徒に合格ラムネを手渡した。近藤さんは「皆さんが合格して笑顔で咲き誇れるよう、心を込めて作った。ぜひ味わってください」と呼びかけた。受け取った3年の新堀弘毅さんは「ラムネのように爽やかに受験の悩みを吹き飛ばしたい」と話した。合格ラムネは今月末から3月末ごろまで、スーパー「いとく」と「グランマート」の一部店舗で数量限定で販売される。(石井ひかり)

(令和6年12月19日(木)秋田魁新聞より一部抜粋)